

(福) 京都府母子寡婦福祉連合会



# 道しるへ

令和4・1  
No.61

「この道の向こうには、夢がある」



- 新年のごあいさつ [会長]、要望活動 ..... P. 2
- 新年のごあいさつ [知事]、知事と新入学児童等のつどい ..... P. 3
- 母子部地域別交流会、ブロック別懇話会 ..... P. 4
- いきいきふれあい事業、ひとり親家庭のこどもの居場所づくり事業 ..... P. 5
- 食料品・生活必需品 配布事業 ..... P. 6
- 支会からこんにちは ..... P. 7
- 知っとコーナー、指導者研修会、あしがき ..... P. 8





「希望に向かって」

京都府母子寡婦福祉連合会 会長 佐竹 幸子

新年あけましておめでとうございます。

会員の皆様にはお健やかに新年を迎えられたことと、お喜び申し上げます。

新型コロナウイルス感染症は、ワクチンの接種や経口薬などが研究開発、承認を経て徐々に日常を取り戻せる希望が見えてまいりました。医療関係者の方の懸命な治療に対し深く感謝すると共に、亡くなられた方々に心からご冥福をお祈りいたします。

令和2年度に続き令和3年度も、新型コロナウイルス感染症拡大により京都府大会の開催は中止となりました。皆さんに会えないことは残念でした。顔を見て声を聞いてという当たり前のことができないことがどんなに辛いことかを考えた一年でもありました。今年は、皆さんと会えることを楽しみにしています。

さて、子育てと仕事をひとりで担う低所得のひとり親世帯は、非正規雇用が多く収入が低く厳しい状況にあります。コロナ禍での大きな困難が心身に生じており生活が困窮しているひとり親家庭にはつらい日々が続いていますが、5月補正予算で、子どもの居場所を拠点に、ひとり親

家庭や生活困窮者に、食料品や生活必需品の配布に予算をつけていただきました。大変有難く会員一同感謝しています。このような状況の時こそ、困っているひとり親家庭に声をかけ一人でも多くつながりが持てるよう活動していきたいものです。

風の便りに、今回食料品や生活必需品を配布したことで、会員獲得された支会があると聞きました。その支会の情報を参考にしてよいところは学んでまいりましょう。寡婦会員と、母子会員が協力し歩んでまいりましょう。

令和4年、『未来を担う子どもたち』のために一丸となり協力し、会員獲得の新発進の年となるよう望んでいます。どんなことをすればよいか？どのようにすればよいか？皆様のお力をお貸しください。どうぞよろしく願いいたします。

最後になりましたが、西脇知事様をはじめ関係各位に厚く御礼申し上げますとともに、今まで私達の会を支えていただいた会員の皆様に心より御礼申し上げ、新年のごあいさつといたします。



「府民の皆さまと力を合わせ 京都の夢を実現」

京都府知事 西脇 隆俊

あけましておめでとうございます。府民の皆さまにおかれましては、つつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年の新型コロナウイルス第5波では、これまでに経験したことのない感染拡大を引き起こしました。この波を乗り越えられたのも、すべての府民の皆さま・事業者の皆さま、そして医療従事者をはじめ関係の皆さまのご協力の賜であり、心から感謝と敬意を表する次第であります。

人類が対峙する新型コロナウイルスは、生命や健康を脅かすだけでなく、世界経済をも混乱に陥れました。われわれは感染予防対策を日常生活に取り入れ、ワクチン接種を進め、医療提供体制を整えるなど、この困難を乗り越えるため、力を合わせ立ち向かっています。

「あなたが一人で見える夢はただの夢だ。

みんなで見る夢は現実になる

~A dream you dream alone is only a dream.

A dream you dream together is reality~」

これは、ヨーコ・オノとジョン・レノンが伝えるメッセージです。

われわれは困難を乗り越えた先に見える「夢」を現実の

ものとするため、力強く歩まなければなりません。夢の形は人それぞれですが、誰もが夢を抱き、夢に向かってチャレンジすることができる社会を築きたい。そのためには「府民と共に 京都夢実現プラン（京都府総合計画）」をさらに前進させる必要があります。

こうした中、これからの京都発展の原動力となる文化庁の京都移転、新名神高速道路の開通、大阪・関西万博の開催が続きます。時機を逸することなく、京都が持つ魅力の源泉である文化の価値をしっかりと国内外に発信することはもちろん、基盤整備を活かした産業戦略と一体となった雇用戦略の展開など、京都の夢を実現するため、着実に取り組んでまいります。

今年は寅年です。「寅」は動くを意味し、芽の出たものが成長していく年です。明治以来初の中央省庁の移転となる、文化庁の京都移転という新しい幕開けに向け、この一年がよりいっそう弾みとなりますよう、皆さまと一緒に夢に向かって邁進してまいります。

今年一年の皆さまのご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます。新年のごあいさつといたします。

京都府へ要望活動を行いました

9月3日（金）京都府庁を訪問し、要望書を提出いたしました。対応してくださったのは、長谷川 学健康福祉部長です。



長谷川健康福祉部長に要望書を手渡す佐竹会長



母子連から会長、副会長の3名で訪問

国に先駆けた取組みのきょうとこどもの城づくり事業や、本年は食料品配布事業、生活必需品配布事業などの経済支援対策を推進してくださっていることに感謝を述べるとともに、依然として厳しい生活環境にあるひとり親家庭の生活の安定と福祉の向上のために一層のご尽力をお願いしたいと伝えてきました。

ひとり親家庭を励ます知事と新入学児童等のつどい

多くの子どもたちに  
お声かけください！

今年も京都府・府母子寡婦福祉連合会・府民生児童委員協議会の共催で、次のとおり開催されます。

知事さんと一緒に親子でゲームを楽しめます。

- 日時** 令和4年3月6日（日）10:30~14:30（予定）
- 場所** 京都テルサ（京都府民総合交流プラザ）
- 参加対象** 新入学児童とその親  
（兄弟姉妹も一緒に参加していただけます。）  
※昨年に申し込んでいない在学1年生も対象です。  
※他の都道府県及び京都市にお住まいの方は対象外となります。
- 内容** お祝いの会（知事と一緒に親子でゲーム、記念品のプレゼント）  
あそびのひろば（子ども）、講演会（親）
- 申込方法** 各地域母子会会長あてに申し込んでください。
- 申込期限** 令和4年2月10日（木）





母子部地域別交流会

支会の枠を越えて、北部・中部・南部の地域毎に、母子会員が調理実習や工作、懇話会等を通して交流する機会を作り、会員相互の連絡や協力を密にすることを目的に活動しています。

北部

令和3年7月18日  
参加者27名

京丹後市母子寡婦福祉会 田畑 二三代

子どもたちは、ダンボール素材のロボットづくりに挑戦しました。細かい作業もありましたが、講師の先生に教えてもらいながら、根気よく最後まで頑張る子どもたちの姿に感動しました。  
お母さんたちは自己紹介をしながら意見交換をしました。子どもが大きくなってなかなか行事に参加できないけれど、居場所を楽しみにしていることや、母子会は母だけでは連れていけないところにも連れていける機会になっているなど、いろいろな話がありました。  
交流会の後にはサンドイッチを作り、みんなでお楽しみしました。



中部

令和3年8月1日  
参加者23名

南丹市母子寡婦福祉会 栃下 八千代

前半にオリジナルの消臭・芳香剤づくり、後半は南丹保健所から講師に来てもらい、制度の情報提供と懇談をしました。  
親子、母子会員がふれあうことができ、また、年の大きい子がみんなをまとめたりの姿も見ることができました。  
近年に新しくできた高等教育の奨学金は、審査は厳しいけれども活用できるものであると先輩会員の方が体験談を語ってくださいました。このような集まりに参加すると、いろいろな情報を得ることができ、集まりを開催することは苦勞もしますが、それでも集まって話をするからこそ知る情報があり、みんなで元気にもなれます。今回の交流会が開催できて、本当に良かったです。



南部

令和3年10月17日  
参加者30名

久御山町母子寡婦(さつき)会 城戸 恵巳子

親子でフラワーアレンジメントを体験し、楽しい時間を過ごしてもらおうとともに、親同士の交流を深め、奨学金や制度等を学び、生活の課題について懇談しました。  
リモートワーク、給料の減額、コミュニケーションがとれないことでストレスを感じていること、通っていない大学の施設費を払っていること、運動会等の参加費がなくなっていること、学校の先生との交流がなくなっていることなど、母の仕事、子どもの学校、家庭生活が一変し、今まで以上に不安感が増したことや、感染拡大の収束の不透明さが生活を脅かしている実態が浮き彫りになりました。



いきいきふれあい事業

親子のふれあいと参加者相互の交流を目的とし、京都府及び京都新聞社会福祉事業団から後援・助成を受けて、楽しい企画を実施しています。

盛りだくさんの秋の一日

福知山市母子寡婦福祉会 土田 泰子

秋になって、新型コロナがひととき落ち着いたので、東映太秦映画村と京都水族館に行くことができました。  
ようやく出かけられるようになったためか、観光客でいっぱいでしたが、映画村では見学だけでなく、うちの絵付け体験もしました。皆さんが個性豊かに絵付けを楽しんでおられました。  
水族館はたくさんの人で、ゆっくりと見ることも難しかったですが、ペンギンやオオサンショウウオ等を見て楽しみました。  
どちらも観光客の方が多くて、休憩場所にも困るほどで、「もっと遊ぶ時間が欲しかった。」の声も聞かれましたが、「コロナで出かけられないところだったので、親子でゆったりできて本当にいい旅になりました。」という感想もいただきました。子どもたちもお弁当を残さず食べてくれ、喜んでくれました。  
学校の行事(修学旅行や遠足等)が再開したことも重なって、参加者に小学生が少なく残念でした。来年度は、今回参加できなかった方も一緒に、親子のふれあいの時間をつくりに行きましょう。



アウトドアでいきいきふれあい

木津川市母子会 小玉 光子

8月8日、良いお天気の中、今年は思いっきりアウトドアのカヌー体験を実施しました。  
フィールドは木津川の中流域(笠置町)。ライフジャケットを身に着け、準備体操をして、ベテランのインストラクターのもと、カヌーを自分で川に運び、準備OK。小学2年生はお母さんと2人乗り、3年生以上は1人乗りでさあ出発。水面と同じ高さになり、1人でカヌーを操作するのは怖いかと思ったが、乗ってみたら思いのほか安定していて、子どもたちはもちろん、お母さんたちも果敢にチャレンジ。自分の背丈以上のパドルの操作に少し苦労したものの、穏やかな流れの中を、上流に向かって滑るように進んでいました。  
2時間程の体験に「もっと乗りたい!」との声。お母さんたちも「一生ないと思っていたが、とても良い経験になった。」と。翌日には「腕がパンパンだった。」の報告もありました。



ブロック別懇話会

平成29年より始まり、北部・中部・南部の地域毎に支会役員や母子連絡員の皆さんが集い、それぞれの地域特性に応じた活動や取組みについての情報交換や勉強会、地域の関係団体との連携強化の取組み等を行っています。

北部

令和3年7月18日  
参加者15名

京丹後市母子寡婦福祉会 梅田 豊子

母子部交流会と同日の午後に開催したこともあって、母子連絡員も多数参加され、母子目線での活発な意見が出される、大変に意義のある懇話会となりました。  
コロナ禍で試行錯誤しながら事業の見直しや工夫をされている各支会の報告があり、これからの母子会のあり方を考える機会となりました。  
母子会からそれぞれの市町に働きかけ、協力要請することは大切です。そして、事業を続けるということだけでなく、母子会のPRや情報提供していくことも会員獲得に必要なことだと思います。



中部

令和3年9月19日  
参加者15名

綾部市母子寡婦福祉会 吉崎 由美

外部講師を招いて女性の体の変化についての興味深い話を聞き、さらに体操で軽く体を動かしてから懇話会を始めたところ、緊張がほぐれたのか、皆さん、いろいろな話をされました。日々の思いや悩みを打ち明けながら、「人生に何ひとつとして無駄はない」と、確認し合うことができました。  
会運営の悩みとしては「子どもが18歳になると退会する人が多い」「コロナ禍で集まりにくい」「いきいきふれあい事業の予算減額でバスによる遠出ができなくなった」等、いろいろな意見が出されました。  
会員減少は変わらぬ課題ですが、食料品・生活必需品配布事業が会員増につながったという嬉しい報告もありました。「会って話す」ことの大切さをつくづく感じた1日でした。



南部

令和3年7月4日  
参加者20名

木津川市母子会 小玉 光子

コロナ禍の中で、今まで以上に仲間がなくなり、知恵を集め、工夫を凝らし、組織拡大を目指して意見交換をしました。  
各母子会で地域性や財政状況、行政や団体とのつながり等の違いで活動内容には違いはあれど、様々な工夫をしながら活動に取り組まれている様子が見え、「自分たちの会では何が出来るか」を考えるいい機会となりました。  
母子会が身近に情報交換できて役立つ組織だということを知らせていくこと、若年母子が参加しやすい活動形態や役員の若返りが図れるような活動を考えることが課題として浮き彫りになりました。



こどもの居場所づくり事業

ひとり親家庭の子どもと保護者が気軽に集える居場所で、子どもの生活習慣の確立や食育・学習支援の定着を目的としています。

『居場所』があるから時間を気にせず働きに行ける!

久御山町母子寡婦(さつき)会 中井 知子  
子どもは、お母さんの立場を理解しているものです。  
働くお母さんの背中を見て、自ら進んでお手伝いができれば、子どもも共に成長します。お母さんたちに「しっかり働き!」と背中を押せるような安心を届けられる「居場所」でありたいと常に思っています。  
そして、居場所で過ごす子どもたちが「ありがとう」と感じて大きくなったら、社会貢献のできる大人になってほしいと願っています。



『居場所』のある日曜日の朝、自分で起きて行きます

城陽市母子寡婦福祉連合会 小木曾 扶美代  
何もない日曜日はダラダラしてしまうけど、居場所のある日曜日は、自分で起きて、自分で準備してくれるそうです。  
勉強だけでなく、英語のカードゲームや寄せ植え、お茶のお点前などの体験がある日もあります。  
先生とマンツーマンで勉強に向き合ったら成績が良かったとか、寄せ植えを体験して家にもお花を置くことにしたらお家の様子が変わったという声も聞きました。  
勉強以外にも楽しいこともあるから居場所にはすすんで来てくれるのかもしれない。

コロナの中で不安もあるけど、『居場所』をやってもらえると助かる、うれしい

綴喜連合母子会 梁間 八千代  
クラブ活動が休みになったりして、子どもたちの居場所は必要でした。本当に自粛しないといけない時は居場所を休みましたが、お母さんたちの希望もあって、感染予防を徹底し実施しました。  
幼稚園児から高校生までが、勉強だけでなく、料理、もの作り体験をしたり、会場の近くの川や堤防で虫取りをしたりと楽しそうです。帰る時には虫を自然に返します。生命の大切さをなんとなく肌で感じているのではないのでしょうか。そんないろいろなことを体験しながら、子どもたちは学んでくれているようです。





新型コロナウイルス感染症は、私たちの生活に大きく影響しました。そんな中、京都府の事業として、食料品・生活必需品の配布が行われることとなり、京都府母子寡婦福祉連合会に委託を受け、こどもの居場所では食料品・生活必需品を、南部・北部の自立支援センターでは生理用品の配布に取り組みました。

普段の生活は厳しい...

コロナ禍で賃金が少なくなり、とても助かる。(久御山町)

収入も低く、子どもたちには必要なものでさえも十分に買ってやる事ができず、苦勞をかけていると思います。(相楽)

買おうと思ってたけど、お金がなくて我慢してたんです。(舞鶴市)

支援をしてくださる方がいると思えるだけで頑張れるなど思いました。(京丹波町)

係の人は大変でしょうが、また、このような機会があればうれしいです。(綴喜)

一人でがんばらないといけないという精神的な不安が軽減されます。(相楽)

もらった日、子どもに「なんかあったん？」と聞かれました。(舞鶴市)



ご飯も、自分は少しにして子どもたちが遠慮せずに食べられるようにしています。(相楽)

お米は欠かせないものなので助かります。(城陽市)

コロナ禍で仕事が減り、家庭用品や消耗品まで手が回らないため、いただけるのは助かります。(久御山町)

子どもを連れて買い物に出るのは怖いと思っていて、かといってまとめ買いは荷物が多くて大変でした。(福知山市)

ありがとうございます  
うれしかった

いただいたスパゲティとソースは、子どもがお料理に興味をもつきっかけになりました。(長岡京市)

マスクもまだまだ必要だし、ありがたいものばかりです。(京丹後市)

普段は集まりに出て来られない方も来られて、様子を見られてよかった。(亀岡市)

届けに行ったとき、「やったー！お菓子や！」と子どもたちが喜んでくれた。(大山崎町)

仕入れたお店にも配布用の箱を提供してもらったり、預かってもらったりと協力をしていただきました。(宇治市)



物価が上がっている中、食料品の配布は大変助かります。(南丹市)

いつもは安いのを買っている。(木津川市)

いつもなら買えないようなシリアル、ジッパー付きビニール袋もいただきました。(綾部市)

買物に出るのをためらっているの助かります。(福知山市)

生理用品など、男の人にはかからない固定費が毎月あるという現実があります。(綾部市)



取組みは大変だったが...

声を聞いて、顔を見て話していると自然に笑顔になって、私も元気をもらいました。(京丹後市)

取りに来られない方が心配で、届けに行っても会えてほっとしました。(宮津市)

この配布事業を機会に、母子会に入られる方がありました。情報を届けられます。(京丹波町)

親子ふれあい体験で交流を  
京丹波町母子寡婦福祉会 谷山 和子

京丹波町は、京都府のほぼ中央部に位置する、山々に囲まれた農山村で、約83%を森林が占め、この間を縫って耕地が広がり、集落が点在しています。令和3年11月には、新庁舎が開庁しました。住民サービスがますます充実することを期待しています。

京丹波町母子寡婦福祉会では、京丹波町社会福祉協議会と一緒に、こどもの居場所づくりを実施しています。今年度は、コロナの影響で主に学習会の実施となっていますが、先生も熱心に指導していただき、子どもたちの成長に繋がっていると感じています。

また今年度は、京都府からの食品支援と生活必需品の支援をきっかけに、新会員さんが11名入会されました。これを機に様々な支援に繋がっていかれたらと思っています。

コロナ禍で、なかなか行事が実施できない中ではありますが、感染対策をしながら親子ふれあい体験をシリーズ化し、実施しています。ステンドグラスづくり体験から始まり、枝豆収穫まつりや古墳教室、みかん狩り、こけだづくりなど多くの体験を通じて、親子や会員同士の関係が深まれば良いと思います。

これからも、人と人とのつながりを大切に、会員が協力し合って仲良く取り組み交流していきたいと思っています。いつも温かいご支援をいただいで感謝しております。



ステンドグラスづくり



枝豆収穫まつり

“New Challenge 交流の輪を広げよう!!”  
宇治市連合母子会 北野 ますみ

宇治市連合母子会では、今年度はいろいろなChallengeがありました。そのうち3つを紹介します。

まず、こどもの居場所づくりでは宇治市南部での活動の場を作りました。少人数教室で退職された教員の方々に勉強を見ていただいています。頑張る子どもたちの姿が見られ、先生にも聞きやすい教室になっています。

そして、食育わくわくキッチンの開催に伴い、政府備蓄米無償交付に申し込みました。美味しく食べてくれる子どもたちの姿がほほえましいです。

さらに(公財)住友生命健康財団様より2020年度スミセイコミュニティスポーツ促進助成プログラムに選んでいただきました。133件応募の中の22件に選んでいただき、親子でスケート教室・軟式テニス教室・バドミントン教室・卓球教室を開催予定で、1月にはボルダリング体験も予定しています。スポーツを通して、子どもたち同士が教え合っている姿や、「え！？お母さんスケートできるの？」と子どもからの驚きの声など、普段お互い見られない姿を見せ合っているのがとても印象的でした。

新しい事にChallengeすることで、新しい仲間にも恵まれ、活動の輪が広まってきたと感じています。みなさまのご協力のおかげで新しくできることがどんどん増え、活発な会になってきました。今後、小さな子どもから大人まで楽しめる素敵な会に成長できればと思っています。

京都府母子寡婦福祉連合会には、18の支会があります。各地域の支会の活動をご紹介します。

コロナ禍で、若い人の考えは無限に広がり  
亀岡市母子寡婦福祉会 奥村 加代

新型コロナは、感染の拡大と縮小を繰り返し、事業計画はほとんど中止になり、昨年のいきいきふれあい事業もバスでの日帰り旅行ができず、3月までの実施は無理かなあと考えていると、母子連絡員の方が、密を避けて少人数で亀岡の地域でできないかと考えていただき、『藍染で世界に一つしかない手作りTシャツ』ができました。密を避けるため、日も時間もいろいろ工夫してもらって、若い方中心にいただき、親子の思い出の時間になりました。

他の事業はできませんでしたが、今年の8月9月の食料品・生活必需品の配布は、三役と母子連絡員を中心に取組み、会員非会員を問わずお渡ししました。皆さんに喜んでいただき、非会員の方が母子会に入りたいと言ってくださいました。

横の糸、縦の糸のようにしっかりできてきており、少しずつですが、工作、寄せ植えを母子寡婦と一緒にしています。そして、5年前からは冬休みの宿題の習字もプロの方に来てもらい、楽しくやっています。

母子も寡婦も手を組みがります。



コースターづくり



洋風しめ縄づくり風景



学習風景



アイススケート



## 知っとコーナー

### 以前に使っていたサブスク、 きちんと解約できていますか？

今、人気を集めているサブスク（サブスクリプション）。一定額を毎月支払うことでサービスを受けることができる仕組みです。

音楽や動画の視聴など、私たちの回りにはたくさんのサブスクが登場しました。月に一度も利用しない場合であっても決まった料金が発生します。レンタルとは違って、利用期間が決められていませんので、辞めたいと思った時は、自分で解約の申し込みをしないといけないのですが、“物”が送られてくるサービスとは違って、音楽配信サービスなどのサブスクは利用しているかどうかを確認しにくいものです。



最初にトライアル期間が設定されていても解約手続きをしなければ自動的に有料サービス契約に切り替わる場合や、解約の手続きを行ったつもりでも、きちんと手続きができたことになっていないれば利用料が引き落とされ続けたりします。スマートフォンアプリの場合、アプリを削除しただけでは解約や退会とはなりません。

このようなトラブルを避けるために、

- ①申し込む際には契約条件をよく確認しましょう
- ②解約手続きは正しく、確認しましょう
- ③申込みの際の情報は解約の際に必要なになりますので、忘れないようにしましょう
- ④クレジットカードの利用明細等で利用していないサブスクの利用料がないか、点検しましょう
- ⑤不安に思ったとき、トラブルが生じたときは消費生活センター等へ相談しましょう。

※消費者ホットライン：「188

(いやや!）」番是最寄りの消費生活センターを案内する全国共通番号です。



## 母子寡婦福祉指導者研修会について

今回は「ヤングケアラーの現状と支援の方策について」をテーマに講演会、意見交換会などを行う予定です。ぜひご参加ください。

日 時：令和4年2月20日（日）13時30分～16時  
場 所：京都府立総合社会福祉会館（ハートピア京都）  
参加対象者：各支会の役員、母子連絡員など



## あなたも「母子会」に入りませんか？

母子会は、あなたと子どもたちが安心して暮らせる社会づくりを目指して活動しています。

あなたの近くにも母子会があります。  
どうぞお気軽にお問い合わせください。  
お問合せは、各地域の母子会  
または京都府母子寡婦福祉連合会事務局  
(電話075-223-1360) まで



## 賛助会員募集中

ひとり親家庭の人々へ  
それらの家庭にあって育ちゆく子どもたちへ  
ご理解・ご支援をいただける方を  
賛助会員としてお迎えするため  
会員の皆様の賛助会員募集の  
取組みをお願いします。  
賛助会費1口1,000円/年

あけましておめでとうございます。  
みなさま、いかがお過ごしでしょうか。  
昨年もコロナで思うように活動できず  
延期・中止も多かったと思います。  
今年は、明るく笑顔あふれる一年に  
なれるよう願っています。  
みなさまお体にお気をつけてお過ごしください。(北野)



## 社会福祉法人 京都府母子寡婦福祉連合会

発行責任者 佐竹 幸子

〒604-0874

京都市中京区竹屋町通烏丸東入る清水町375番地

京都府立総合社会福祉会館内

TEL 075-223-1360 FAX 075-950-1503

<https://hitoriyoia.kyoto/>

